



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月28日

上場取引所 東 福

上場会社名 西部瓦斯株式会社

コード番号 9536 URL <http://www.saibugas.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 酒見 俊夫

問合せ先責任者 (役職名) 経理部主計グループマネジャー

(氏名) 山崎 正良

TEL 092-633-2245

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日

平成28年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	75,542	△18.0	3,753	△32.5	3,579	△34.1	△709	—
28年3月期第2四半期	92,105	△3.2	5,561	50.9	5,429	52.7	3,443	68.8

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 140百万円 (△94.8%) 28年3月期第2四半期 2,670百万円 (△38.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△1.91	—
28年3月期第2四半期	9.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	326,892	67,931	19.9
28年3月期	341,231	68,925	19.3

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 64,978百万円 28年3月期 66,005百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00	
29年3月期	—	3.00	—	—	—	
29年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	170,000	△10.7	11,000	△12.7	10,000	△17.8	4,000	78.4
								10.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	371,875,676 株	28年3月期	371,875,676 株
29年3月期2Q	746,886 株	28年3月期	743,893 株
29年3月期2Q	371,130,520 株	28年3月期2Q	371,149,720 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

個別業績予想

平成29年3月期の個別業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	116,000	△16.0	7,000	△18.5	8,000	△12.8	3,500	—	9	43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9
4. 参考情報	10
(1) 四半期個別経営成績等の概況	10
(2) 四半期個別ガス販売実績等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、原料費調整制度に基づくガス料金単価の下方調整の影響や、熊本地震の影響及び気温が高めに推移したことによるガス販売量の減少等により、前年同期に比べ16,563百万円減の75,542百万円となりました。

費用面につきましては、原油価格の下落等によって都市ガス原材料費が減少したこと等により売上原価が減少いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益は前年同期に比べ1,808百万円減の3,753百万円、経常利益は1,850百万円減の3,579百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益は、熊本地震による都市ガス復旧費用3,636百万円を特別損失に計上したことから、709百万円の損失（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益3,443百万円）となりました。

なお、当社グループの売上高は、ガス事業のウエイトが高いため、冬期を中心とした期間に多く計上されるという季節的変動があります。

〔収支の概要〕

(単位：百万円)

項 目	当第2四半期 連結累計期間 (28.4~28.9)	前第2四半期 連結累計期間 (27.4~27.9)	増 減	率 (%)	西部ガス (単独)	連単倍率 (倍)
売 上 高	75,542	92,105	△16,563	△18.0	51,995	1.45
売 上 原 価	40,470	54,051	△13,581	△25.1	27,289	1.48
供 給 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	31,318	32,491	△1,173	△3.6	22,760	1.38
営 業 利 益	3,753	5,561	△1,808	△32.5	1,945	1.93
経 常 利 益	3,579	5,429	△1,850	△34.1	3,113	1.15
親会社株主に帰属する 四半期純利益又は 親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)※	△709	3,443	△4,152	—	△316	—

※ 西部ガス(単独)においては「四半期純損失(△)」

〔ガス販売実績等〕

項 目	単位	当第2四半期 連結累計期間 (28.4~28.9)	前第2四半期 連結累計期間 (27.4~27.9)	増 減	増減率 (%)	
販 売 量	家 庭 用	千m ³	102,678	108,043	△5,365	△5.0
	業 務 用	〃	280,990	279,393	1,597	0.6
	卸 供 給	〃	25,436	25,676	△240	△0.9
	計	〃	409,104	413,112	△4,008	△1.0
お 客 さ ま 戸 数	千戸	1,143.5	1,146.9	△3.4	△0.3	
平 均 気 温	℃	24.0	22.7	1.3	—	

(注) ガス販売量は45MJ(メガジュール)/m³で表記しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、季節的な要因によるガス売掛金の減少に加え、固定資産の減価償却が進んだこと等によって、前期末に比べ14,339百万円減少し、326,892百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したこと及び配当金を支払ったこと等により、前期末に比べ994百万円減少し、67,931百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向等を踏まえ、平成28年7月28日の第1四半期決算短信で発表した通期の連結並びに個別業績予想を修正いたします。

個別業績予想につきましては、原料費調整制度に基づくガス料金単価の下方調整の影響に加え、器具販売の売上が減少すること等から、売上高は前回予想を下回る見通しです。一方、営業利益、経常利益及び当期純利益につきましては、為替レートの想定を見直したことによる原材料費の減少や諸経費の削減等により、前回予想を上回る見通しです。

連結業績予想につきましては、売上高は新規連結子会社の増加による増収影響はあるものの、個別売上予想の減少により、前回予想を下回る見通しです。一方、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、個別業績予想の修正を受け増加する見通しです。

なお、平成28年7月28日に公表いたしました通期の連結並びに個別業績予想との差異は以下のとおりです。

〔通期連結業績予想〕

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	172,000	10,500	9,500	3,900	10 51
今回修正予想 (B)	170,000	11,000	10,000	4,000	10 78
増減額 (B - A)	△2,000	500	500	100	—
増減率 (%)	△1.2	4.8	5.3	2.6	—
前期実績	190,378	12,605	12,165	2,242	6 04

〔通期個別業績予想〕

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	119,500	6,500	7,000	2,500	6 74
今回修正予想 (B)	116,000	7,000	8,000	3,500	9 43
増減額 (B - A)	△3,500	500	1,000	1,000	—
増減率 (%)	△2.9	7.7	14.3	40.0	—
前期実績	138,056	8,594	9,179	141	0 38

(参考)

今回予想の前提 (10月以降) : 原油価格 45ドル/バレル 為替 105円/ドル

前回予想の前提 (10月以降) : 原油価格 45ドル/バレル 為替 115円/ドル

2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
固定資産		
有形固定資産		
製造設備	65,322	62,513
供給設備	65,286	64,241
業務設備	17,772	17,654
その他の設備	88,675	87,545
建設仮勘定	6,912	7,774
有形固定資産合計	243,969	239,729
無形固定資産		
のれん	527	440
その他無形固定資産	2,630	2,510
無形固定資産合計	3,157	2,950
投資その他の資産		
投資有価証券	30,892	31,848
長期貸付金	283	255
繰延税金資産	1,906	1,826
その他投資	7,067	6,932
貸倒引当金	△211	△201
関係会社投資損失引当金	△378	△378
投資その他の資産合計	39,559	40,283
固定資産合計	286,685	282,963
流動資産		
現金及び預金	13,144	9,071
受取手形及び売掛金	17,653	13,278
有価証券	100	50
商品及び製品	2,265	2,856
仕掛品	3,666	4,246
原材料及び貯蔵品	9,303	5,830
繰延税金資産	2,416	2,567
その他流動資産	6,165	6,143
貸倒引当金	△169	△114
流動資産合計	54,545	43,929
資産合計	341,231	326,892

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
固定負債		
社債	40,000	40,000
長期借入金	137,397	133,199
繰延税金負債	45	316
ガスホルダー修繕引当金	417	434
退職給付に係る負債	2,840	2,625
資産除去債務	326	328
その他固定負債	7,891	8,054
固定負債合計	188,919	184,958
流動負債		
1年以内に期限到来の固定負債	34,897	31,833
支払手形及び買掛金	12,481	8,334
短期借入金	18,819	20,041
未払法人税等	1,689	1,446
役員賞与引当金	43	8
その他流動負債	15,456	12,337
流動負債合計	83,386	74,002
負債合計	272,306	258,960
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,629	20,629
資本剰余金	5,804	5,801
利益剰余金	35,380	33,557
自己株式	△174	△175
株主資本合計	61,639	59,812
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,034	5,605
退職給付に係る調整累計額	△667	△440
その他の包括利益累計額合計	4,366	5,165
非支配株主持分	2,919	2,953
純資産合計	68,925	67,931
負債純資産合計	341,231	326,892

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	92,105	75,542
売上原価	54,051	40,470
売上総利益	38,053	35,071
供給販売費及び一般管理費	32,491	31,318
営業利益	5,561	3,753
営業外収益		
受取利息	7	4
受取配当金	335	322
持分法による投資利益	32	47
雑貸貸料	257	272
雑収入	641	306
営業外収益合計	1,274	952
営業外費用		
支払利息	1,010	915
社債発行費償却	48	—
雑支出	348	210
営業外費用合計	1,407	1,126
経常利益	5,429	3,579
特別損失		
災害による損失	—	3,636
特別損失合計	—	3,636
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	5,429	△57
法人税等	1,934	602
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,495	△659
非支配株主に帰属する四半期純利益	51	49
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	3,443	△709

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,495	△659
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△985	587
退職給付に係る調整額	144	227
持分法適用会社に対する持分相当額	15	△15
その他の包括利益合計	△824	800
四半期包括利益	2,670	140
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,623	89
非支配株主に係る四半期包括利益	47	50

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(熊本地震による損失)

平成28年4月に発生した「平成28年熊本地震」により、当社の都市ガス供給区域である熊本地区において都市ガスの供給を一時停止したことに伴うガス復旧費用及びガス導管等設備の修繕費が発生したことから、当該損失額を「災害による損失」として特別損失に計上しております。

災害による損失の内訳は次のとおりであります。

都市ガス復旧費用	2,606百万円
ガス導管等設備の原状回復費用	677
その他復旧等に係る費用	352
計	3,636

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ガス	LPG	不動産	計				
売上高								
外部顧客への売上高	65,994	8,029	2,515	76,539	15,565	92,105	—	92,105
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,031	1,217	1,640	3,889	2,809	6,698	△6,698	—
計	67,025	9,246	4,155	80,428	18,374	98,803	△6,698	92,105
セグメント利益	3,856	236	1,169	5,262	506	5,769	△207	5,561

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品販売事業、情報処理事業、飲食店事業、熱供給事業、太陽光発電事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△207百万円には、セグメント間取引消去又は振替高232百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△439百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ガス	LPG	不動産	計				
売上高								
外部顧客への売上高	51,336	6,786	2,801	60,925	14,617	75,542	—	75,542
セグメント間の内部 売上高又は振替高	736	847	1,676	3,261	2,821	6,082	△6,082	—
計	52,073	7,634	4,478	64,186	17,438	81,625	△6,082	75,542
セグメント利益	1,948	51	1,253	3,253	646	3,899	△145	3,753

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品販売事業、情報処理事業、飲食店事業、熱供給事業、太陽光発電事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△145百万円には、セグメント間取引消去又は振替高307百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△453百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 参考情報

(1) 四半期個別経営成績等の概況(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
29年3月期第2四半期	51,995 △22.9	1,945 △49.1	3,113 △29.4	△316 -
28年3月期第2四半期	67,478 △4.3	3,819 45.4	4,407 39.3	3,236 41.9
28年3月期	138,056	8,594	9,179	141

	総資産	純資産
	百万円	百万円
29年3月期第2四半期	181,897	55,091
28年3月期第2四半期	199,238	63,589
28年3月期	193,120	55,944

(2) 四半期個別ガス販売実績等

① お客さま戸数

(単位:千戸)

	当四半期末 (28.9.30現在)	前年同四半期末 (27.9.30現在)	増減	率(%)
お客さま戸数	1,100.7	1,104.2	△3.5	△0.3

② ガス販売量

(単位:千m³)

	当四半期 (28.4～28.9)	前年同四半期 (27.4～27.9)	増減	率(%)	
家庭用	99,582	104,806	△5,224	△5.0	
業務用	商用	53,871	53,484	387	0.7
	工業用	157,720	161,757	△4,037	△2.5
	その他	53,706	49,323	4,383	8.9
	業務用計	265,297	264,564	733	0.3
小計	364,879	369,370	△4,491	△1.2	
卸供給	47,520	46,014	1,506	3.3	
総販売量	412,399	415,384	△2,985	△0.7	

(注) ガス販売量は45MJ(メガジュール)/m³で表記しております。

[気温実績データ]

(単位:℃)

	当四半期 (28.4～28.9)	前年同四半期 (27.4～27.9)	増減
平均気温	24.0	22.7	1.3

(注) 気温は、当社6カ所の工場・製造所・供給所(福岡、北九州、熊本、長崎、佐世保、島原)で独自に測定し、ガス送出量に応じて加重平均しております。